都市再生整備計画 事後評価シート 多賀地区

令和4年1月

滋賀県多賀町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	滋賀県		市町村名 多賀町			地区名 多賀地区					面積	27ha			
交付期間	平成28年度~令和2年度		事後評価実施時期	<mark>Я</mark>	令和3年度		交付対	付象事業費		148百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に								事業名						
	位置づけ、	基幹事業	地域生活基盤施設、高質空間形成施設												
	実施した事業	提案事業	事業効果分析調査、まちづくりPR活動の実施												
			事業名					削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画から基幹事業		地域生活基盤施設(まちなか駐車場、駅前駐車場)					令和2年3月に計画変更し削除				数値目標(往来者数)を500人/日から410人/日へ変更			
	削除した 事業	提案事業													
	新たに追加した	基幹事業													
	事業	提案事業													
	交付期間	当初		交付期間の変更による事業											
	の変更	変 更				、数値目標への)影響								
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況		指 標	÷1111111111111111	從前		目標的		数	值	目標	1年以内の	効果発現要		フォローアップ	
			単位		基準年度		目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	多賀大社入	・込客数 千人/	′年 1,620	H26	1,800	R2		1,612(実績 値) 1,800(推計 値)	0	ありなし				
	指標2	往来者数	٨/	∃ 100	H26	410	R2		440	0	あり なし				
	指標3										ありなし				
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況		指標	:	従前		目標				目標	1年以内の	効果発現要		フォローアップ	
	その他の		単位	<u> </u>	基準年度		目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	数値指標1														
	その他の数値指標2														
4) 定性的な効果				-										,	
発現状況			実施内容					実施状況				今後の対応方針等			
5)実施過程の評価	モニタリング		平成28年度に町道多賀絵馬通り線を休日に往来する歩行者数 都を現地計測した。10月~2月の各月休日1回、7:00~19:00までの 上り下り歩行者数を集計した。往来者数は、平均331人/日(小				都市再生整	再生整備計画に記載し、実施できた				の効果を確認する必要がある場合は、適宜、モニタリングの実験計する。			
	住民参加プロセス		会」と情報共有を図りながら事業を推進した。地域の自主的な取り組みは、事業後も継続的に行われ、活動も活性化していること				都市再生整	生整備計画に記載し、実施できた 生整備計画に記載はなかったが、実施した ・ 生整備計画に記載したが、実施できなかった				通りの活性化に向けた地域の取り組みに対し、町は支援を行			
	持続的なまた 体制の構		都市再						、実施できた なかったが、実施 たが、実施できな						

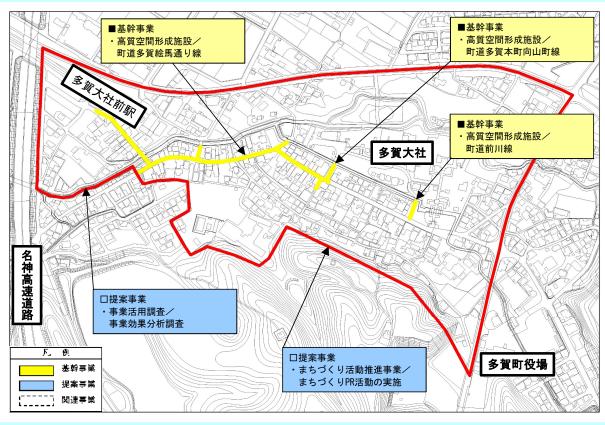
様式2-2 地区の概要

多賀地区(滋賀県多賀町) 都市再生整備計画事業の成果概要 まちづくりの目標 従前値 目標値 評価値 目標を定量化する指標 1,612(実績値) 多賀大社の入込客数 単位:千人/年 1.620 H26 1.800 R2 観光資源を活用した賑わいのある住みよいまちづくり 1,800(推計値) ①多賀大社参拝者をおもてなしできる賑わいのある空間づくりによる商業の振興 往来者数 単位:人/日 100 H26 410 ②来訪者と住民が交流することによる生き生きとした豊かな生活の実現 注) 令和2年の多賀大社入込客数は、過去のトレンドから1,800千人と推計されるが、緊急事態宣言等の影響を受け1,612千人に減少した。 ③道路を地域コミュニティーの場とすることによる高齢化社会にも対応した徒歩圏内での生活の実現 社会情勢の急激な変化に伴う影響は評価から取り除く必要があることから、令和2年の入込客数は推計値を評価値として採用した。

高質空間形成施設/ 町道多賀絵馬通り線



・まちづくり活動推進事業/ まちづくりPR活動の実施



高質空間形成施設 町道多賀本町向山町線



 高質空間形成施設 町道前川線



・多賀大社前駅から多賀大社に至る絵馬通りと、多賀大社に接続する道路の舗装整備によって、まちなみの景観の質が高まり、雨水排水の環境が改善し、路上駐車が減少するなど、歩行空間の快適性が向上した。

・多賀大社周辺における景観の改善によって、質の高いまちなみが保全され、歩きたくなる空間の創出につながった。

・まちづくり会社の「杜ノ実」によって、空家所有者から建物と土地を借り上げ、空家の改修、維持管理を手がけ、他のテナントヘサブリースする民間主導のまちづくりモデルが取組まれた。こうした取り組みによって、高齢化等に伴う商 店街機能の衰退を抑制する効果が認められるほか、地域コミュニティの維持、活性化につなげる環境が構築された。

まちの課題の変化

・上記の取り組みのほか、観光客の誘客に向け、絵馬通り周辺で行われるイベント、PR活動等により、絵馬通りの往来者数は目標達成に至ったが、今後更なる観光客の誘客、取り組みの継続が課題と考えられる。

今後のまちづくり の方策 (改善策を含む)

·「絵馬通りの活性化を考える会」の活動の継続、誘客促進、イベント実施、情報発信、空き家、空き店舗の活用、新規開業・業態変更等の支援等 ・観光客の更なる誘客として、(仮称)多賀スマートIC等から多賀大社への誘導、多賀大社周辺における駐車場の整備、観光資源のPR活動